

ミュージシャン タイのあどうんさん

4月18日、ミューザ川崎ガレリア広場に“あどうん”さんに会いにいってきました！

あどうんさんは、ライブでもタイを表現し、『真の人生』でモラルを唄い、『ホットニュース』ではユーモラスにニュースを伝えていました。鍵盤が竹で作られた楽器“ラナード”的ぬくもりのある音色とアフリカの太鼓“ジンペイ”的調和が心地よく心に響いて、幸せな気分にさせられました。

詩の内容もポジティブで、「日本の子ども達にぜひ聴かせたいですね」と言うと、ご夫婦でクリエイティブなことが大好きで、奥様の作詞にあどうんさんが作曲し、仲間と演奏を楽しんでいるとのこと。さらに、5才の娘さんの話になると目を細めて、彼女が生まれて初めて作詞作曲した『耳ちゃん』を演奏してCDに取り入れ、カバーのデザインにもなったととてもうれしそうでした。

印象的だったのは、音楽を通して、タイ文化を紹介し、自國への恩返しをしたいと言われたことです。日本文化も大好きで、合気道を学んだり、三遊亭圓生さんの落語を楽しんだり、「タイはタイしたもんだ」とダジャレで和ませてくれたりと、なかなか素敵なお方でした。

(取材・文:編集ボランティア 福地、日地谷)



あどうんさんの演奏を聴きにいこう！

- 7月5日(日)インターナショナル・フェスティバル(川崎市国際交流センター) ラジオでも会えるよ！
- 毎週土曜日10:00~FM多摩(77.6MHz) 「あどうんの大発見！みんぞく音楽」

「あどうん」プロフィール：

バンコク生まれ。東京、川崎近辺で活躍している作曲家・演奏家・民族音楽研究家・ラジオパーソナリティー。(ホームページhttp://adul.jp)
21年前に留学のため来日し、日本の建築研究の傍ら、幼いころより身につけたタイの伝統音楽を基に、独自の音楽活動を展開。平成5年には天皇陛下の前で演奏。その後、「あどうんタイ音楽団」を設立。平成7年東京芸術大学大学院音楽専攻科を卒業。

アジア交流音楽祭でライブ

イタリア語講座はじまります

後期イタリア語講座 講師
ディオダート・フランチェスコ

ナポリ県出身です。来日(2000年)する前に大学で日本の文化と日本語をちょっと勉強していましたが、最初の頃は結構困っていました。簡単だと思っていた挨拶にも秘密が隠っていました。例えば、「イタリアの小さなお店と違って、日本では小さなお店に入る時にもお客様は挨拶しない」とイタリアにいた時に読んだ事がありがとうございましたが、初めて一人でコンビニに入った時に店員さんに「いらっしゃいませ」と言わされました。見られている感じもしましたので、その時に「やはり、何かを言わないと失礼だ！」と思って、イタリアと同じように皆が聞こえる様な大きい声で「こんにちは！」と言ってしまいました。全てのお客様はびっくりしながら私を見ていきましたのでその時に、真っ赤になり「挨拶はいらなかつたね！」と分かりました。

日本語の挨拶を勉強した時に「おはよう、こんにちは=buongiorno(ボンジョルノ)」というふうに理解していましたが、ある日不動産屋さんに家賃を払って、帰る時に私は「おはようございます！」と言って、不動産屋さんの顔には「?」が描いてありました。後で友人に聞いて分かりましたが「buongiorno」の持つ意味が日本語と全く同じではないと初めて知りました。イタリア語では「buongiorno」は人と会う時にも別れる時にも使えるのです！

7月の「国際理解講座」は タイの象のこと「ラックチャーン」です

国際理解講座 講師 遠藤 明子(もと象使い)

私には3人の子供がいる。2人は人間で、もう1人は象のノッパカオ。象と言えども、産まれたときからずっと世話をしてきたからコレもまた、家族なのである。今は日本へ帰ってきてしばらく会つてないノッパカオ。だから、わが子を置いてきてしまったような寂しさがある。私は今まで25頭ほどの母象、仔象を任された。その1頭目がノッパカオ。タイ語で9つの宝石という意味。それからも次々と仔象は産まれ、私の息子も産まれた。名前はノッパラット。宝石のグラスを意味する。名づけ親は象キャンプのオーナーで、ノッパカオと兄弟だからと名前をそろえてくれた。動物も人も、接する時はいつだって真剣でなければならない。そうすれば、相手は必ず応え心は通じる。



時には怒り、時には優しく。そんなことを象たちから学んだようと思う。

お知らせ タイランド 象の描いた絵

7月19日(日)14時から。タイの象の現状を知ってもらおうと各地で活動をしている遠藤明子さんや中山雅夫さん(アクトローカル)の講演を開催。

展示

2009年7月17日(金)~23日(木)

◎会場:川崎市国際交流センター 展示ロビー

講演会

2009年7月19日(日) 14:00~16:00

◎会場:川崎市国際交流センター 団体活動ルーム
◎申込不要 ◎先着40名